

(様式1) ※A3判(1枚)に収める。実践充実プランの内容と年間推進計画書との整合性に留意して記載すること。

「道徳教育推進拠点校事業」実践充実プラン 中土佐町立 久礼中学校		校長	堅田 謙洋	教員数		児童生徒数		第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	第5学年	第6学年	合計	
		道徳教育推進教師	森田 彩予	16	児童生徒数	32	1(1)	33	1(1)	30	1(1)				95
研究テーマ		道徳科の趣旨を踏まえた指導方法の工夫・改善と評価の在り方に関する実践研究により、生徒一人一人の道徳性の向上を目指した道徳教育の推進													
年度当初の学校の状況		到達目標			中間検証(下半期に向けての改善事項)				年度末(到達目標達成状況)						
<p>本校の生徒は、道徳の学習に対して、一生懸命考え自分と向き合おうとする態度が見られる。昨年度末に行った道徳調査において、「道徳の授業では自分の考えを伝えたり、他の考えを聞いたりしながら、自分のことについてよく考えている」に対しての肯定評価が90.5%であった。</p> <p>しかし、他の考えを受け入れ、自分の考えと照らし合わせながら、さらに深めていくことが不十分である。また、道徳調査の「自分にはよいところがあると思う」では、肯定評価が61.9%であり、自尊感情が高いとはいえない状況である。</p>		<p>道徳意識調査の肯定的回答の割合の向上</p> <p>①「道徳の勉強は好きだ」の項目85%以上を目指す。</p> <p>②「家の人と道徳の話をしたり、「家庭で取り組む高知の道徳」を読んだりする」を5ポイント以上向上</p> <p>③「自分には、よいところがあると思う」を10ポイント以上向上</p> <p>④「将来の夢や目標をもっている」を5ポイント以上向上</p> <p>⑤「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある」を5ポイント以上向上</p>			<p>① 生徒が主体的に考えられる発問の工夫を継続して研究することや自分の考えを伝えたり他の考えを聞き合う機会を増やす。</p> <p>② 「家庭で取り組む高知の道徳」を通信に載せたり、参観日において掲示したりして、家族で話し合ってもらえる機会を設け、意識の向上を目指す。</p> <p>③ 道徳調査の結果、「自分にはよいところがあると思う」では肯定評価が71.4%であった。自尊感情の向上を目指し、日常的な声がけを継続する。</p> <p>④ 総合的な学習の時間や学校行事と道徳の授業を関連づけながら自分の将来について考える機会を効果的に増やす。</p> <p>⑤ ④と同様、地域の学習と関連づけながら地域を誇りに思える心を育てる。</p>				<p>①「道徳の勉強が好きだ」について89.9%であり、目標を達成できた。</p> <p>②家庭での会話については-1.4ポイントだった。</p> <p>③「自分にはよいところがあると思う」について、79.8%へ上昇し、到達目標達成できた。そのことによる自尊感情の向上を図ることができ、心配となる生徒の言動が減少した。</p> <p>④「将来の夢や目標」については77.2%から83.1%へ上昇し、到達目標を達成できた。</p> <p>⑤は、63.0%から73.0%へ上昇し、到達目標を達成した。</p>						
到達目標達成のための取組		取組計画 ※評価 A(十分できた) B(おおむねできた) C(あまりできていない) D(全くできていない)				指標達成状況の分析									
取組項目	取組の評価指標	5月～8月			中間評価	9月～2月(中間検証を踏まえての追記・変更可)				達成状況	年度末評価				
道徳科の趣旨を踏まえた指導計画の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆道徳教育推進教師を中心として、各学年の進捗状況を確認する。</li> <li>◆年間指導計画・各学年の別業に基づく検証(毎学期)</li> <li>◆管理職と道徳教育推進教師が道徳の授業を参観し、授業評価を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①道徳教育の全体計画(各学年の別業)、各学年の道徳科の年間指導計画の形式と内容を見直して作成。</li> <li>②管理職・推進教師が道徳科の授業を参観できる体制の継続。</li> <li>③授業者と推進教師が、事前研究→授業実施→事後研究のサイクルにおいて、短時間で打ち合わせや振り返りができる時間の確保。</li> <li>④校内支援委員会において道徳意識調査の結果を分析し、次の手立てを検討・実施する。</li> </ul>			B	<ul style="list-style-type: none"> <li>①道徳教育の全体計画(各学年の別業)、各学年の道徳科の年間指導計画の形式と内容を確認。</li> <li>②管理職・推進教師が道徳科の授業を参観できる体制の継続。</li> <li>③授業者と推進教師が、事前研究→授業実施→事後研究のサイクルにおいて、短時間で打ち合わせや振り返りができる時間の実施</li> <li>⑤ 道徳意識調査の結果をもとに協議。</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>◆各学年の進捗状況を確認しながら、年間計画に沿って進めることができた。</li> <li>◆管理職・道徳推進教師が道徳の時間を参観できる体制を継続できた。</li> <li>◆全体計画(各学年の別業)や各学年の年間指導計画の整備を行った。</li> </ul>	B				
道徳科の趣旨を踏まえた「考え、議論する道徳」の授業研究	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆道徳授業チェック【教師用】【児童生徒用】の平均数3.5以上を目指す。(H30 平均3.4)</li> <li>◆全教員が公開授業・研究授業を行い、町内外に案内する。</li> <li>◆全教員が道徳に関する研修に参加し、研修内容や助言を授業改善につなげる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①授業研究を3回実施</li> <li>②道徳授業チェックの結果及び個人内評価に係る協議・授業改善策の検討</li> <li>③学習指導案、構成メモ、授業写真、授業記録、ワークシート等の整理・保管</li> <li>④地教委と連携し、中土佐町全教員が参加する道徳研修会を設定し、町全体として道徳科の授業改善を目指す。</li> </ul>			B	<ul style="list-style-type: none"> <li>①授業研究を3回実施</li> <li>②道徳授業チェックの結果及び個人内評価に係る協議・授業改善策の継続</li> <li>③学習指導案、構成メモ、授業写真、授業記録、ワークシート等の見直し</li> <li>④他校の公開授業への参加(2回、計4名)</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>◆公開授業を16回実施した。</li> <li>◆道徳授業チェック【教師用】3.3で目標を達成できなかった。【生徒用】3.6であり目標を達成できた。</li> <li>◆他校への公開授業(授業づくり講座含む)に、推進教師だけでなく担任も参加し、授業改善について研究した。</li> </ul>	B				
道徳科の趣旨を踏まえた評価の研究	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆道徳連絡カード(評価票)を毎学期末に作成し、道徳科の学習状況や生徒の成長の様子を個人面談で保護者に伝える。</li> <li>◆自尊感情・自己有用感を高める取組や学級経営とリンクさせた評価を研究する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①「校内支援システム」(いいところ見つけ)を活用して、学習状況や道徳性に係る成長の様子を把握し、道徳連絡カードを作成する。生徒の自己評価を記入し、個人面談で保護者に伝え、保護者からのコメントを記入してもらうといった流れの中で、生徒の自尊感情・自己有用感を高める。</li> <li>②道徳ファイルを活用し、道徳性に係る成長の様子を把握する。</li> </ul>			B	<ul style="list-style-type: none"> <li>①「校内支援システム」(いいところ見つけ)の分析と見直しを行い、学期末に発行。</li> <li>②道徳ファイルを活用し、道徳性に係る成長の様子を把握を継続するとともに、教員間で共有する。</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>◆全教職員が関わって道徳連絡カードを作成し、発行した。</li> <li>◆道徳授業チェックの振り返り(自由記述)から生徒の道徳性に関わる成長の様子を把握できた。</li> </ul>	B				
家庭・地域と連携した道徳教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆学校便り・学級通信・道徳通信で授業の様子、取組、成果、生徒の意見、道徳教育ハンドブックの内容について発信する。</li> <li>◆全学級公開による道徳参観日を実施し、保護者参加率50%以上、道徳連絡カードと合わせたアンケートの肯定的評価70%以上を目指す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①全学級公開による道徳参観日の実施(6月)</li> <li>②「高知の道徳」を参観日や懇談会で活用(全学年)</li> <li>③道徳連絡カードを通じて得た保護者からの意見を取りまとめ、分析する。</li> </ul>			B	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 道徳参観日の保護者参加率は50.5%であり、目標は達成した。アンケートが未実施のため、2学期以降実施する。</li> <li>② 道徳連絡カードを通じて得た保護者からの意見を取りまとめ、分析する。</li> <li>③ 2学期以降も道徳通信を継続して発行する。</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>◆道徳連絡カードと合わせたアンケートからは肯定意見が多かった。ただし、回収率が低く、課題が残る。</li> <li>◆道徳通信を発行。主に、授業の内容や生徒の感想を載せることで、家庭へ授業の様子を知らせることができた。さらなる情報発信が必要。</li> </ul>	B				